サボタージュ（1936）

SABOTAGE
A WOMAN ALONE

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 イギリス
色彩 B&W
時間 76分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

Ｊ・コンラッドの『密偵』（奇しくもヒッチの前作「間諜最後の日」の原題と同じ題の小説）の映画化。善良な映画館主を装って破壊活動をする男と、彼の家庭に八百屋の御用聞きを装って近付く若い刑事の対立。危機を察して男は、義弟に時限爆弾の入った包みを、もちろん、それとは知らせず託して運ばせようとする。が、遊びたい盛りの幼い義弟は道草を喰って遅れ、バスに乗っている最中、爆弾は少年もろとも吹き飛んだ。これが夫の仕業だと知った若い妻は夕食の時、思い余って彼をナイフで刺殺してしまう。しかし、夫の映画館が内部抗争で仲間に爆破され、犯行はもみ消され、若妻に心を寄せていた青年刑事は優しく彼女を慰めた。ヒッチは刑事役のローダーをミス・キャストとしており、少年を殺したことも失敗と認めている。しかし、複雑な内面を持った人間として描かれる主人公、バーロック氏に扮するホモルカは好演で、彼が自らの罪を悔い、それを期待していたかのように、あっけなくシドニー扮する妻の凶刃に倒れるクライマックスは感動的だ。96年に「シークレット・エージェント」としてリメイクされる。

【クレジット】

監督	アルフレッド・ヒッチコック	Alfred Hitchcock
製作	マイケル・バルコン	Michael Balcon
原作	ジョセフ・コンラッド	Joseph Conrad
脚本	チャールズ・ベネット	Charles Bennett
	イアン・ヘイ	Ian Hay
撮影	バーナード・ノールズ	Bernard Knowles
音楽	ルイス・レヴィ	Louis Levy
出演	シルヴィア・シドニー	Sylvia Sidney
	オスカー・ホモルカ	Oskar Homolka
	ジョン・ローダー	John Loder
	デズモンド・テスター	
	ジョイス・バーバー	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.